

研究に関する情報公開および除外申出について

本研究では、X（旧 Twitter）上で一般公開されている投稿を対象として、テキストアナリティクス（テキストマイニング、計量テキスト分析）による分析を行います。

本研究の目的は、X（旧 Twitter）上の投稿において、若者の生きづらさや支援に繋がりにくい困難がどのように語られているのかを探索的に明らかにすることです。分析には KH Coder3、Text Mining Studio7 を用い、語の出現頻度、共起関係、係り受け関係、特徴分析、対応分析等を行います。

本研究で対象とするのは、X（旧 Twitter）上で一般公開されている投稿です。非公開アカウントの投稿、ダイレクトメッセージ、削除済み投稿は対象としません。

本研究では、個別の投稿者に直接連絡して書面による同意を得ることが困難であるため、研究情報を公開し、投稿者本人から除外の申し出があった場合には、当該投稿を分析対象から除外します。

研究成果を公表する際には、アカウント名、ユーザーID、URL、投稿日時、地名、学校名、個人名等、個人の特定につながる情報を削除または加工します。また、原文の引用は必要最小限にとどめ、検索により投稿者が特定されないよう配慮します。原文データセットは公開しません。

本研究にご自身の投稿が含まれることを希望されない場合は、下記の連絡先までお知らせください。除外を申し出たことにより、不利益が生じることはありません。

- ・研究課題名： 若者の生きづらさに関する探索的研究
- ・研究責任者： 荒井 浩道（駒澤大学文学部社会学科社会福祉学専攻・教授）
- ・研究実施者： 安 然（駒澤大学大学院人文科学研究科社会学専攻・D3）
- ・研究期間： 2026年6月24日～2026年12月31日
- ・対象となる投稿： Xで一般公開されている「若者の生きづらさ」に関連する投稿
- ・収集条件： 「不登校」「いじめ」「親ガチャ」等の生きづらさに関連するキーワードによる検索（X公式APIを用いてデータを収集）
- ・分析方法： KH Coder3、Text Mining Studio7によるテキストアナリティクス
- ・研究成果の公表方法： 博士学位論文、論文・学会発表等

※データは研究責任者および研究実施者の間でのみ共有し、研究目的の範囲内で使用する。なお、将来的に関連する研究において二次利用する可能性があるが、個人が特定されない形で適切に管理する。・除外申出方法： メールでの連絡

（3074201r@komazawa-u.ac.jp）

- ・問い合わせ先： 3074201r@komazawa-u.ac.jp（担当：安 然）

以上